

諏訪地方の経済概況速報

平成24年 6月

(平成24年 5月末調査)

平成24年 6月22日

長野県岡谷市郷田2丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】	諏訪公共職業安定所管内	0.72倍	+0.11ポイント	
手形交換高【5月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	8,850枚	△170枚	
	金 額	12,817百万円	+205百万円	
	うち不渡り	枚 数	3枚	0枚
	発生状況	金 額	2,109千円	+1,496千円
電力使用量【5月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	48,958 MWh	△6.0%	
	高压電力計	85,492 MWh	△2.9%	
	合 計	134,450 MWh	△4.0%	
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪地方合計)		1,038件	+39.3%	
新設住宅着工戸数【H24.4】(諏訪管内)		84戸	△0.15%	

□ 本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

□ 地域の概況

日本経済全体では、欧州債務問題をはじめ、中国経済の減速、為替相場、株価など不安定要素が相次ぐ中で、諏訪地方の企業は自動車関連を中心に、足元は持ち直しつつある。一方で、エコカー補助金予算の終了を懸念し、反動減を心配する見方が出始めている。大手メーカーの多くが海外シフトを強化する中、「内製化」、「コストダウン要請」という親会社の動きへの対応も迫られている。産業設備関連は、海外進出した日系企業や新興国向けなどの受注が安定している。物流は、夏場の電力抑制を想定したメーカーが、先行生産して備蓄するため、飲料の荷動きが活発だった。震災の影響を受けた東北方面の企業の代替生産も続いている。

●製造業

自動車部品関連の下請企業の足元の受注は、高水準で推移する企業が多い。東日本大震災で落ち込んだ反動とエコカー補助金効果で、ハイブリット車を中心に好調な受注状況が続き、タイ洪水後の回復もあり、一昨年比でも伸びを示している。反面、海外での日本企業間の価格競争や低単価などで収益性の厳しさも見られる。先行き不安のため、増産予定でも社内設備は増加させず、外注で対応する動きもある。工作機械などの産業設備関連では、円高や内製化、震災の反動で増減さまざまの中で、計画停電対応機器関連は旺盛な受注状況となっている。また、海外との競合はあるものの、医療機器や冷媒部品の受注も安定している。カメラ光学機器の受注は低調で、今後の見通しは親会社によりまちまちとなっている。

●商業

諏訪地方の5月の天候は数日の周期で変わり、上空の寒気の影響で雷雨となる日もあり、月平均気温が低かった。生鮮食品は引き続き好調で、フルーツや野菜が高値となった。「母

の日」では菓子などの加工食品が好調だった。また、一部地域では新規出店があり、相乗効果が出る反面、価格競争が厳しくなっている。電力からガスへの切り替え、CO₂削減など環境面の追い風で工業用ガスの売上は増加傾向となっている。

自動車販売は、諏訪地方の5月の車庫証明件数が1,038台と前月を126台上回り、前年同月比は293台の増加(+39.3%)となった。依然、エコカー補助金と新型車の人気などから、販売台数は回復している。

●観光業・サービス業

観光シーズンに入り、諏訪地方の5月の入り込み客は個人、団体客とも本格化しているが、昨年的高速道路休日割引廃止の影響で減少している所もある。GW中の観光地の1日当たりの利用者は、ほぼ前年並みだった。前半は比較的好調で、後半は天候の影響を受けた。

諏訪大社の5月の参拝者数は約67千人と、昨年 비해約4千人の増加となった。諏訪地方の観光地は天候の影響を受けたり、リニューアルした施設もあることから、入り込みは施設によって増減さまざまとされている。大手エージェン트가東北ツアーを企画しているため、今後の諏訪地方への団体客の動きが不透明になっている。

●建設業

市町村の5月の発注工事は、建築工事18件、土木工事及び下水道工事29件、その他工事8件の合計55件1,840百万円で、前年同月比で件数は3件減少したが、契約金額は諏訪市で大規模な小学校校舎整備工事があり1,460百万円の大幅増加となった。県関係の5月の公共工事(地元業者受注分)は1件134百万円、また平成24年4月～平成24年5月の累計契約は3件193百万円と前年同期累計比で件数は同数で、契約金額は182百万円の増加となった。

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は84戸で前年同月比では15戸の減少(△15.0%)となった。また、長野県内の4月の新設住宅着工戸数は864戸で、前年同月比2.2%増加と3ヶ月ぶりに増加した。

●雇用

諏訪地方の4月の有効求人倍率は0.72倍と前年同月を0.11ポイント上回った。全国の同倍率は0.79倍、長野県の同倍率は0.83倍となっている。

諏訪地方の4月の新規求人数(全数)は1,271人で前年同月比37人の増加(+3.0%)、新規求職者数(全数)は1,435人で前年同月比199人の減少(△12.2%)だった。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業で70.9%増加、卸・小売業とその他サービス業で50.0%増加、飲食店・宿泊業でも32.0%増加したが、精密業を除く製造業で減少した。4月の1件10人以上の人員整理は1件44人、事業主都合による雇用保険資格喪失は144人で前年同月比21人減少、前月より64人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	低調のまま横這いで推移。
プリンター	下請け企業の受注は、親企業の不振で減少傾向。大手の受注は不透明で、総体的に弱含み。
コンタクター・リレー	在庫調整の影響があったが、受注は比較的堅調。材料の仕入れ単価が高止まりしている。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業は、足元の受注は増加企業が多く、新車販売が堅調な推移だが、一方でエコカー補助金の予算が夏場に底をつくのではとの見方もあり、反動での減少を懸念する慎重な見方も出ている。
ピストンリング・シリンダーライナー	ハイブリット車関連は受注量安定。生産は海外主体で、国内はハイブリットと軽自動車ものが多い。海外製品の精度が悪く国内生産に切り替えるケースもある。
船外機	高水準の生産を続けていたが、生産台数を下方修正した親会社があり、今後の動向がやや懸念される。

3. 一般機械

工作機械・専用機	大型機の受注は横這い。小型マシニングは良好で国内向けエンジン部品も堅調だが、半導体関連はまだ低調。
搬送用機械	一部親会社の海外移転の影響があったものの、概ね横這い状況。
金型	医療機器部品の量産は安定した推移。二輪車部品はタイの洪水以降、高水準の受注。コストダウン要請厳しく利幅が下がる所もある。
ダイカスト	受注は増加傾向。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの4月の生産台数は約966万台で前月比11.5%減少、前年同月比21.4%増加となった。4月の出荷台数は国内出荷約70万台、海外出荷約881万台の合計約952万台で出荷台数全体では前月比12.3%減少、前年同月比は17.1%増加となっている。デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注水準や今後の見通しは、親会社により増減まちまち。
レンズ	円高、ユーロ安の影響を受け、価格競争が厳しい。

5. 織 維

ニット

夏物量産が終了し、秋物量産へ移行。量産の時期は短期間になっている。原料価格は高止まりしている。

6. 食 品

寒天

製造時期の好天で良質なものができ、顧客からの反応が良い。観光用の売上は天候による。顧客からの再注文が好調。

味噌

例年売上減少期。連休中は観光用味噌の売れ行きが良好だった。各社加工食品部門への事業化を進めている。

7. 製 材

諏訪地方の4月の木造住宅着工戸数は72戸で、前年同月に比べ19戸の減少となった。

8. 建 設

公共工事

5月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所0件、施設課関係工事0件、林道治山工事関係0件、農地整備課0件、長野国道事務所等国関係1件、その他工事0件の合計1件、契約金額134百万円となった。また、平成24年4月～平成24年5月の累計契約は3件193百万円と前年同期累計比で件数は同じで、契約金額は182百万円の増加となった。

市町村の5月の発注工事は、建築工事18件1,653百万円、土木工事及び下水道工事29件146百万円、その他工事8件40百万円の合計55件1,840百万円で、前年同月比で件数は3件減少、契約金額は1,460百万円の増加となった。豊田小校舎整備工事などで諏訪市の発注が突出している。

民間工事

諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は84戸で前年同月比では15戸の減少(△0.15%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は12戸増加の76戸、「貸家」は28戸減少の0戸、「給与」は同数の0戸、「分譲」は1戸増加の8戸となった。

また、長野県内の4月の新設住宅着工戸数は864戸で、前年同月比2.2%増加と3ヶ月ぶりに増加となった。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が596戸で0.2%減少、「貸家」が141戸で7.2%減少、「分譲」が127戸で33.7%増加となった。

9. 商 業

衣料	婦人、紳士服とも堅調。
食料品	フルーツや野菜が高値で、加工食品の売上が伸びた。業者間競争は激しい。
家電製品	低調で推移。日本製品は顧客ニーズに合っていないと販売サイドの不満も。太陽光は評価が高いが、中国メーカーが低価格で脅威。
自動車	エコカー補助金の影響で新車を中心に、販売状況は順調だが、補助金終了後の懸念も出始めている。
ホームセンター	家庭菜園や緑のカーテンなど園芸用品の動きは好調だった。昨年の品不足の教訓から、苗の入荷を増やした店舗も見られる。

10. 観 光

上諏訪温泉	施設によって増減の格差がある。修学旅行受け入れの時期だが、他の地区に流れていると見られる。
蓼科・白樺湖・車山等	団体客来場数は年々、減少傾向。前年同月と比べた宿泊者数は、施設や曜日によりまちまち。花の最盛期に向けた準備を進めている。
下諏訪温泉	一昨年並み。同窓会や大社での結婚式関係の売上が増加。修学旅行関係団体のキャンセルがあった。
諏訪大社	震災の影響で減少した昨年に比べ増加し、平年比でも増加傾向。特に下社春宮は「万治の石仏」経由での団体参拝者が多い。

★ 企業のひと言

※現在は受注増だが、昨年の震災のダメージが大きく、なかなか全回復には至らない。見積もりは動き、平年に戻りつつあるが、業界全体では年々減少傾向に思える。これから若い人たちがどうやっていくのか心配。(自動車関連製造業)

※世間の脱原発の動きに合わせて、エネルギー関係の仕事に取り組めるのは歓迎。(一般機械製造業)

※シルクのまちに住む人が絹への関心が低く、外部の人のほうが高い。手にする機会が少なく、まだ近くに絹織り工場があるのに、地元事業者が活用できていない。(商業)

※大きな仕事は多くの企業が集まってきて取れない。小さいものに、こつこつ挑むしかない。(印刷業)

※会社の利益は改善傾向だが、社会のデフレ傾向が壁になって、給与水準を上げるまでには至らない。(物流業)

※母の日の売れ筋は花からスイーツに変わってきている。(商業)